

地球環境と世界市民

EARTH ENVIRONMENT AND GLOBAL CITIZEN

国際シンポジウムのご案内

アジア太平洋地球変動研究ネットワーク主催

環境倫理にもとづいた環境教育の国際ガイドラインの構築に向けて

- 環境教育における APN の役割 -

会議趣旨

「環境倫理にもとづいた環境教育の国際ガイドラインの構築に向けて - 環境教育における APN の役割 -」のテーマのもと、地球変動研究に関する自然科学や科学教育またその成果としての政策提言をより充実させるために、自然科学、社会科学、人文科学など各領域における総合的な「知」の観点より本シンポジウムを展開します。すべての「学」の根底に共通するものは「教育」であり、そして「環境教育」こそがその任務の一助を担うと考え、国際的なガイドラインの構築を目指します。

本シンポジウムは、国際的な環境教育のガイドラインの構築に向けてアジア・太平洋のネットワークの中で、日本、タイ、マレーシア、インド、オーストラリア、アメリカ、カナダ各国とのパートナーシップを結ぶことを目的とします。

現在までの環境教育研究は個々纏まりのないままに進められてきているのが現状であるため、環境教育の国際的なガイドラインの構築が必要であり、それは環境倫理にもとづく共通の方向性を示唆するものであることが要求されます。

第一日目は、環境倫理にもとづいた環境教育を展開するためにアジア・太平洋諸国から先駆的な研究者、実践家を招き「国際的な環境教育のスタンダード化を目指して」記念・特別・基調講演を行ない、その後シンポジウムによって意見・情報交流を行ないます。

第二日目は、学校教育・社会教育・地球変動教育に関わるワークショップの開催によって、NPO/NGOや行政機関の人々や教育者等にも参加して頂き、環境教育指導にあたってのスキルの質的な向上を身につけることを意図します。またシンポジウムでは「環境倫理にもとづいた環境教育のガイドラインの構築に向けて - アジア版環境教育の教材開発 -」を目指します。

第三日目は、研究者・専門家による国際研究会「環境倫理にもとづいた環境教育の国際比較研究」を開き、環境倫理にもとづいた地球規模の環境教育ガイドラインを構築すべく研究を進めていきます。

以上のように三日間を通じて、国際的な環境教育のガイドラインを構築することを目指して、「環境教育における APN の役割」について討議する予定です。

概要

テマ：環境倫理にもとづいた環境教育の国際ガイドラインの構築に向けて
- 環境教育における APN の役割 -

会期：2006年1月28日(土)・29日(日)・30日(月)

会場：[28日(土)] 兵庫県立近代美術館ミュージアムホール
[29日(日), 30日(月)] 甲南大学8号館8-24教室

使用言語：日本語 / 英語

主催：アジア太平洋地球変動研究ネットワーク / 兵庫県 /
甲南大学環境総合研究所

プログラム概要

(1日目) 1月28日(土)：記念講演 / 基調講演 / シンポジウム / 懇親会

(2日目) 1月29日(日)：ワークショップ(A)(B)(C) / 基調報告
シンポジウム / 全体総括

(3日目) 1月30日(月)：国際研究会(専門家会議) / オプショナル・ツアー
国際シンポジウム事務局

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1 甲南大学文学部 谷口文章研究室気付
甲南大学環境総合研究所

TEL・FAX：078-435-2368 E-mail：fumiaki@konan-u.ac.jp

環境総合研究所 URL：http://kankyo-institute.lit.konan-u.ac.jp/~taniguchi/

第5回国際保健医療行動科学会議のご案内

「地球環境と世界市民」国際協会会長 谷口文章

【会議趣旨】

今日、科学技術の発達による自然や社会の急激な改変とともに、私たちの「生命と環境」の状況も大きく変化しつつあります。バイオテクノロジーの発達によって、現代人はクローン技術、ヒトゲノム解読や遺伝子治療、生殖革命、脳死、臓器移植、再生医療などの生命をめぐるさまざまな課題に直面しています。他方、地球環境問題においては、環境汚染状況がますます広汎化し深刻化しており、地球温暖化、酸性雨、森林伐採、砂漠化、稀少種の減少、生物多様性の減少などの課題があります。これらの課題を解決するためにはホーリズムと統合の視点から「いのちと環境をめぐる教育」が必要となります。

この度、日本保健医療行動科学会と「地球環境と世界市民」国際協会共催により「いのちと環境をめぐる教育 - 統合医療と環境教育 - 」というテーマのもと、タイ・バンコクにおいて国際会議を開催します。21世紀の「健康ないのちと健全な環境」を維持していくために、国際会議によるグローバルな視野より「統合医療と環境教育」について研究・討議を進め国際交流を深めたく存じます。

持続可能な21世紀の未来を実現するためにも、多数の皆さまの御参加をお待ちしております。

【概要】

テーマ：いのちと環境をめぐる教育 - 統合医療と環境教育 - (仮題)

会期：2006年8月16日(水)～8月21日(月)

会場：タイ・バンコク(プラナコーン=ラジャバト大学, チュラロンコン大学)

使用言語：日本語・英語

主催：日本保健医療行動科学会

共催：「地球環境と世界市民」国際協会 /

プラナコン＝ラジャバト大学 / チュラロンコン大学

実行委員会：第5回国際保健医療行動科学会議実行委員会

【プログラム（予定）】

（1日目）8月16日（水）東京：羽田国際空港集合 関西：関西国際空港集合

タイ・バンコク：ドン・ムアン空港着

（2日目）8月17日（木）エクスカーション：ビハーラ視察

（終末期患者のための仏教系医療施設）

（3日目）8月18日（金）オープニング・セレモニー / 記念講演

研究発表・ポスター発表 / ウェルカム・パーティー

（4日目）8月19日（土）基調講演 / シンポジウム / サテライト・シンポジウム

（5日目）8月20日（日）ワークショップ / オプショナル・ツアー（バンコク観光）

（6日目）8月21日（月）タイ・バンコク：ドン・ムアン空港発

日程が若干変更する可能性があります。詳しくは次回のセカンド・アナウンスメントにて情宣させていただきます。

【分科会テーマ】

保健医療・健康に関するキーワード

健康のための統合的アプローチ

医療倫理

生命倫理

東洋と西洋の医療ケア

健康と病気の心理社会的要因

健康と病気をめぐるコミュニケーション

ストレスとコーピング

予防的健康行動

セルフケア行動

精神保健

高齢者・障害者の健康

ヒューマン・セクシャリティ

生と死

保健医療システム / 保健医療政策

健康をめぐる介入の行動科学的技術と教材

健康行動科学の理論と歴史

看護・福祉教育

学校と健康

アニマル・ヒーリング

代替・相補医療（CAM）

伝統医療

統合医療

ホリスティック医療

自然治癒力

健康教育

環境に関するキーワード

環境教育

実践研究 / フィールドワーク

環境倫理

ホリスティック教育

環境教育と防災教育

環境保全製作

生物多様性

持続可能な開発のための教育（ESD）

環境教育の国際比較研究

国際ネットワーク

指導者養成

環境教育カリキュラム

環境学習プログラム

環境教育教材

市民参画 / パートナーシップ

生態系と地球環境

地球環境問題

環境アセスメント

環境教育の評価方法

環境とライフスタイル

食農教育

エネルギー教育

伝統文化の保存と継承

自然治癒力

健康教育

【お問合せ先】

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1 甲南大学文学部 谷口研究室気付
第5回国際保健医療行動科学会議 実行委員会 事務局
TEL・FAX：078-435-2368 E-mail：fumiaki@konan-u.ac.jp

第2回日本・タイTV会議の報告

2005年7月27日(水)に第2回TV会議が開催されました。2005年3月17日(木)に開催された第1回日本・タイTV会議と同様に、今回も甲南大学とタイのプラナコーン=ラジャバト大学をインターネットを使ったTV会議システムでつなぎました。甲南大学からは谷口文章先生(甲南大学環境総合研究所所長)、プラナコーン大学からはSiriwat Soondarotok先生(環境教育センター所長)とChinatat Nagsinha先生(環境教育センター)が参加され、それぞれのゼミナール・大学院の学生も参加しました。また、当日ゲストとしてAPN(アジア太平洋地球変動研究ネットワーク)所長山村尊房氏、IGES(地球環境戦略研究機関)関西研究センター副所長今田長英氏の参加があり、ゲストスピーカーとしてご挨拶いただきました。

本会議は以下のスケジュールにより進行され、成功裡のうちに終わりました。今後の可能性として、TV会議システムの講義内での活用、高大連携における国際的な情報交流の促進が求められています。

タイムスケジュール(日本時間)

13:00 打合せ(会議の進行の確認)

14:00 準備開始

15:00 開会挨拶 日本：谷口先生 タイ：Siriwat Soondarotok 先生

15:10 ゲスト挨拶

山村尊房氏(APN所長) 今田長英氏(IGES関西研究センター副所長)

15:30 谷口ゼミナール学生自己紹介

15:45 プラナコーン大学ゼミナール学生自己紹介

16:00 谷口研究室活動の紹介

有機農業 住吉川環境学習

カナダ(ヴィクトリア大学環境学部)・フィールドスタディー

16:20 質疑応答・ディスカッション

16:40 国際ネットワーク化の推進及び今後の進め方

17:00 終了

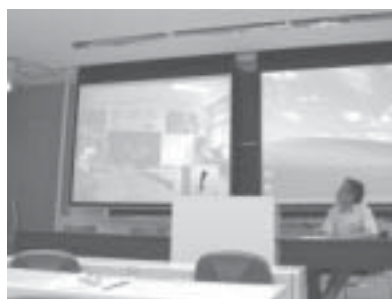
[感想] 第2回日本・タイTV会議に参加して

浜崎清華(甲南大学)

私は、今回初めてタイの先生方や大学生と直接話し合うTV会議を経験しました。そして、タイの先生や学生は日本の農業や環境問題について大変興味を持たれているという印象を受けました。タイの先生から「日本のエネルギー問題についてどう考えているか」というシビアな質問をされ、私たちゼミ生は誰もその質問にすぐには答えられませんでした。



そのことから、自国の環境問題にもっと目を向け、身近なところから考えていかなければならないと思いました。例えば、日本ではスーパーやコンビニでビニール袋、デパートで包装紙が大量に使われています。しかし他国では、手さげカバンを持参し、ビニール袋を無駄に使用しないことが当たり前になっています。そのように、私たちの生活には多くの反省点があり、そのことに多くの人が気付くことが必要だと思いました。



また、会議は英語で行なわれたのですが、両国の会話は先生同士で行なわれることが多く、私たち学生は英語力の乏しさから自発的に意見をすることがあまりできませんでした。語学力の重要性を再認識し、向上に努めたいと思いました。そして、やはり語学力以前に、自分の国や文化についてもっと興味や関心を持ち、自分の意見をしっかりと持った上で、積極的な発言をしていくことが大切だと思いました。



エコクッキング・レシピ

黒豆ゼリー

<材料> (2人分)

- ・黒豆ジャム 適量
- ・牛乳 250ml
- ・ゼラチン 4g

<作り方>

ゼラチンを大さじ2杯の水に溶かし、レンジで約25秒温める。

溶けたゼラチンを牛乳に入れ、黒豆ジャムと混ぜる。

容器に入れ、冷蔵庫で冷やしてできあがり。

ポイント

- ・他のジャムを使って作ることもできる。
- ・牛乳をヨーグルトに変えるとムースを作ることができる。

ゼリーで手軽にジュース

<材料>

- ・紅茶の葉
- ・ゼラチン
- ・砂糖
- ・牛乳

<作り方>

ゼラチンを大さじ2杯の水に溶かし、レンジで約25秒温める。

紅茶を作り、その中にゼラチンを入れ、容器に入れて冷蔵庫で冷やす。

固まったゼリーを冷たい牛乳に入れ、できあがり(温かい牛乳に入れてもよい)。

ポイント

- ・様々な組み合わせのジュースができる。例えば、牛乳ゼリーと紅茶、コーヒーゼリーと牛乳の組み合わせなど。



- ・あらかじめ紅茶ゼリーと牛乳ゼリーを作っておくと、両方のゼリーをカップに入れてレンジで温めるだけで、すぐに飲み物ができる。

ネットワーク掲示板

2005年認定健康行動科学士講習会（秋季・近畿地区）予定

日時：2005年11月26日（土）・27日（日）

場所：甲南大学10号館10-12教室（予定）

[1日目：11月26日（土）]

9:00-9:20 受付・開会の辞

9:20-12:30 音楽療法（石井豊子氏・兵庫県音楽療法士）

12:30-13:40 昼食

13:40-15:10 わかる疫学方法論（牧本清子氏・大阪大学）

15:20-16:50 健康社会学入門（吉岡隆之氏・神戸市看護大学）

17:00-18:30 健康心理学のBasic（村田正章氏・兵庫医科大学）

[2日目：11月27日（日）]

9:00-9:20 事務連絡

9:20-10:50 死生学とターミナルケア（谷荘吉氏・小松病院）

11:00-12:30 ヘルスプロモーション論（柳井勉氏・関西福祉科学大学）

12:30-13:40 昼食

13:40-15:10 わかる精神神経免疫学（中川晶氏・大阪産業大学）/試験

15:30-18:20 日本保健医療行動科学会近畿支部第100回記念研究会

15:30-16:10 記念講演

16:20-18:20 シンポジウム

記念講演・シンポジウムを併せて、選択講義に読みかえ（2単位分）予定

18:30-20:30 懇親会

当日の講義時間帯や会場については、日本保健医療行動科学会のホームページ（<http://homepage1.nifty.com/jahbs/>）で随時ご確認下さい。

問合先

日本保健医療行動科学会事務局

〒272-0021 市川市八幡2-6-18-501

TEL：047-332-0726 FAX：047-332-5631

認定健康行動科学士資格研修会事務局（近畿地区）

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1 甲南大学文学部谷口研究室気付

TEL・FAX：078-435-2368 E-mail：fumiaki@konan-u.ac.jp

日本保健医療行動科学会 第99回近畿支部研究会

日時：2005年9月10日（土）14:30-17:00

話題：「医師が患者となって」（仮題）

講師：隅 寛二氏（医療法人神甲会隅病院）

会場：甲南大学10号館1014教室

参加費：500円（会員・学生・非会員）

日本保健医療行動科学会 第100回近畿支部研究会

日時：2005年11月27日(日)15:30-18:20

話題：100回記念シンポジウム「保健医療行動科学会のこれまでとこれから」(仮題)

講師：宗像恒次(日本保健医療行動科学会会長), 関西在住の理事・評議員の先生方
シンポジウム

詳細についてはHP(<http://homepage1.nifty.com/jahbs/>)上にて公開

会場：甲南大学

参加費：500円(会員・学生・非会員)

シンポジウム終了後、記念パーティー(18:30-20:30 於：甲南大学5号館 Cafe Pensee)を開催する予定です。

(パーティー参加費：一般4000円、学生2000円<予定>)

<問合先>日本保健医療行動科学会近畿支部事務局

〒651-2103 兵庫県神戸市西区学園西町3-4

神戸市立看護大学吉岡研究室

TEL・FAX：078-794-8074 E-mail：yoshioka@tr.kobe-ccn.ac.jp

(財)日立環境財団 みんなが主役の環境教育シンポジウム 第3回・奈良

～学校と地域の特殊性を活かした環境教育～(仮称)

タイトル：みんなが主役の環境教育

～学校と地域の特殊性を活かした環境教育～(仮称)

日時：2005年11月19日(土)13:00-18:00(開場12:30)

場所：奈良市北部会館市民文化ホール

(<http://www.hokubu-hall.city.nara.nara.jp/>)

定員：200名

主催：(財)日立環境財団

共催：きんき環境館

後援：奈良県、奈良市、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、(以下日立環境財団
後援分)環境省、文部科学省、日本経済団体連合会、自然保護協議会、全国環
境保全推進連合会(他案)マスメディア社

運営協力：奈良環境ネットワーク、(特活)大阪府民環境会議

事務局：日立環境財団、きんき環境館、奈良環境ネットワーク(それぞれ連絡先)

[プログラム]

13:00 開会

主催者あいさつ・趣旨説明：日立環境財団

来賓あいさつ：環境省総合環境政策局環境教育推進室

来賓紹介：環境省近畿地区環境対策調査官事務所長・奈良県生活環境部

13:10 基調講演(各50分)

地域の風土と環境教育(上村淳之氏 京都市立芸術大学名誉教授)

学校教育と環境教育(谷口文章氏 甲南大学教授)

14:50 分科会の説明・移動時間・休憩・ポスターセッション

15:10 環境教育をテーマとした分科会（120分）

学校教育と環境教育（仮称） 景観と環境教育（仮称）

森林と環境教育（仮称） 自然エネルギーと環境教育（仮称）

17:10 休憩・分科会報告準備

17:20 分科会報告（20分）

17:40 閉会のあいさつ（近畿地区環境対策調査官事務所長） 諸連絡

17:50 閉会

エコ・ツーリズムバス・ひょうご環境学校事業分追加募集

このたび兵庫県では、環境関連施設や自然公園等において、地域団体等がその構成員を参加者として実施する環境教育・学習を助成対象とする従来のエコツーリズム(一般分)に加えて、NPO団体等が広く一般に参加者を公募して企画・実施する環境教育・学習を助成対象とする従来のエコツーリズムバス(一般分)に加えて、NPO団体等が広く一般に参加者を公募して企画・実施する環境教育・学習を支援する「エコツーリズムバス(ひょうご環境学校事業分)」を追加募集することとし、7月15日より受付を開始します。ぜひご活用下さい。

募集期間及び受付台数（ひょうご環境学校事業分は第2期からの募集となっています）

	学習実施日	受付期間	受付台数
第2期	7/20～9/30	7/15～8/31	20台
第3期	10/1～12/31	9/1～11/30	20台
第4期	1/1～3/31	12/1～2/28	10台

申込方法など詳しい内容は、こちらのホームページをご覧ください。

<http://www.heaa-salon.or.jp/event/detail.php?id=495>

お問合せ先：(財)ひょうご環境創造協会 環境創造部

〒654-0037 神戸市須磨区行平町3-2-31

TEL：078-735-2738 FAX：078-735-2292

事務局だより

1. 2006年度1月ならびに8月にそれぞれ国際会議を開催する予定にしております。詳細につきましては、今後本誌を通じてご案内致したく予定しております。奮ってご参加いただきますようお願い致します。
2. 本協会年報の論文投稿を受け付けております。区分は(1)研究論文(原著論文/総説)、(2)資料、(3)報告です。年報巻末に添付しております投稿規程にしたがって御応募下さい。
3. 本協会では、環境教育に関する国際ネットワーク化の促進ならびに国際的ガイドラインの構築を推進しております。国際的な情報を御提供下さいますようお願い致します。

『地球環境と世界市民』国際協会ニュースレター No.18

事務局：「地球環境と世界市民」国際協会

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

甲南大学文学部人間科学科 谷口研究室内

Tel/Fax:078-435-2368 E-mail:fumiaki@konan-u.ac.jp

Homepage:http://www.nk.rim.or.jp/~fumiaki/iaeg/iaeg_j.html